

# 平成29年度 学校評価 集計結果とまとめ



回答率	協議員	89%	89.8%
	保護者	70%	
	教職員	100%	
	CG	100%	

CG＝学校介護職員

## 東京都立鹿本学園

学校評価に御協力いただき、誠にありがとうございました。皆様から評価していただいた内容を項目ごとにまとめ、それぞれの平均値をチャート化して表しましたので御覧ください。

多くの設問に対して丁寧に回答していただき、また貴重な御意見を多数いただきました。

学校評価の結果については真摯に受け止め、さらなる教育の充実に向けて、教職員一同、努力を重ねてまいります。

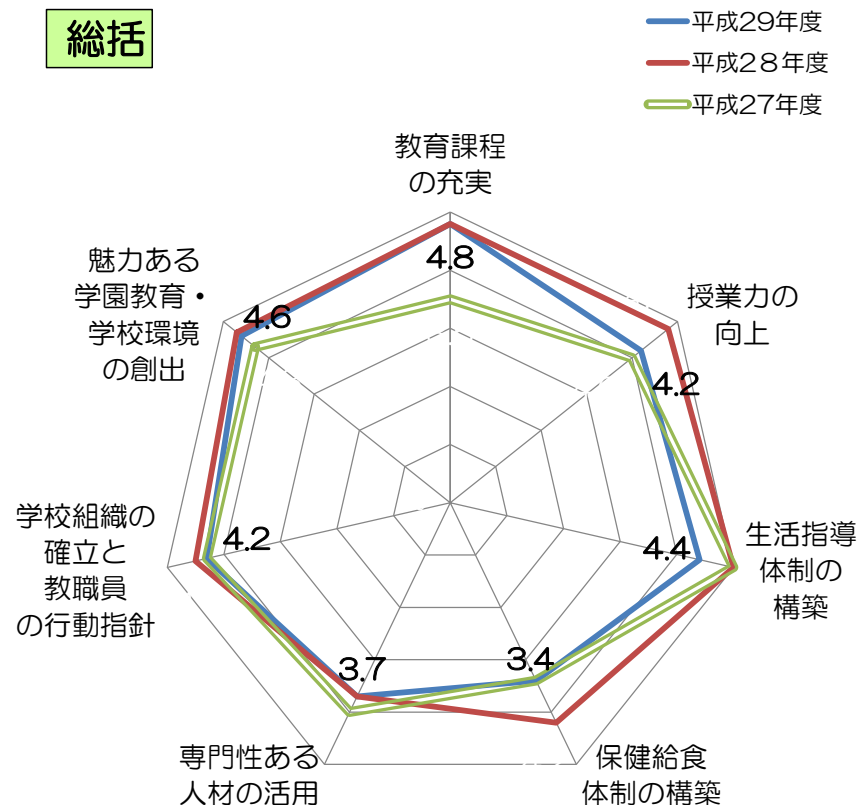
【左側に示した表について】

◎4段階の評価を、プラス評価（4，3）と、マイナス評価（2，1）とし、未記入を加えて表示しました。

【レーダーチャートについて】

◎評価値は、回答1・2（プラス評価）の平均を基に、  
5：90%以上  
4：80%から90%  
3：60%から80%  
2：40%から60%  
1：40%以下                      で、表しています。

## 総括



全体的にみると、数値としては昨年度よりも下がった結果となりました。ですがこれは、それぞれの項目の自由表記の意見から、鹿本学園が開校して4年がたち、さらに求めるものが高くなったための結果ということが読み取れます。

①SN両部門間の、授業等におけるさらなる交流を求める声

②宿泊防災訓練に対する評価と切実な思い

(より実態に即した訓練を望む声、参加学年や参加形態の広がりを求める声)

以上の2点に関する御意見は、特に多くの方々から挙げられました。いただきました御意見を基に、今後の在り方や学校行事等の企画について、各部門の該当部署や担当者間で可能性を探ってまいります。また、

③愛称などではない、人権を尊重した児童・生徒の名前の呼び方を求める声

④外部専門家からのアドバイスをいかに授業へ活用しているか等、保護者への伝え方に関する課題

など、教職員の姿勢や考え方に関する御意見もありました。これは、学部及び全校での確認を行い、保護者の方に満足していただけるよう、努めてまいります。

⑤保護者の負担軽減を求める医療的ケアの在り方

⑥アレルギー対応に関する様々な御意見

など保健に関する御意見は、東京都の動向を踏まえ、学校の考えだけでは改善できないものもありますが、児童・生徒のみなさんが、安心して安全な学校生活を送ることができるよう、保護者の方々事前に相談や確認を行いながら、進めていくように計画します。どうぞ、御理解と御協力をお願いいたします。

皆様からいただいた御意見は、より良い学校運営を実現させるために有効に活用できるよう、努めてまいります。今後とも、何かお気づきのことがありましたら、遠慮なくお知らせくださいますよう、お願いいたします。ありがとうございました。

## 《評価委員会の提言を受けての 平成30年度に向けた取り組み》

### ◎さらなる授業力の向上を目指します。

- ・日々の研究活動を通し、周囲の様々な意見を受け止めながら、多角的な視点で授業を見つめ直し、児童・生徒の課題に応じた授業改善に努めます。
- ・SN両部門間の交流の在り方について、「カフェ」以外の作業学習の進め方を中心に、可能性を探ります。
- ・外部専門家より受けたアドバイスが、授業にどのように活かされているか、分かるように工夫します。

### ◎人権の尊重を徹底し、教職員の意識を高めます。

- ・児童・生徒の名前を、愛称や呼び捨てで呼ばないように徹底します。
- ・体罰は絶対になくさなければならないものと確認し、行動に注意します。

### ◎安心で安全な、充実した学校生活の実現に努めます。

- ・宿泊防災訓練の対象や実施形態について、より良い在り方を検討します。
- ・医療的ケアやアレルギー対応の進め方について、保護者との連携を図りながら、今後の可能性を探ります。

Q1 言語獲得・文字獲得に至る、基礎段階の学習の指導の充実を図ることができていますか。

【保護者】日々の学習について、個別指導計画に基づいた、お子さんの成長が感じられる指導がされていると思いますか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
100%	0%	0%	97%	1%	2%	94%	4%	2%	97%	2%	1%

Q2 キャリア発達の視点を重視した学習活動（S高類型化、社会見学、移動教室等）を展開することができましたか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
100%	0%	0%	86%	4%	10%	90%	7%	2%	92%	4%	4%

Q3 オリンピック・パラリンピック教育及び国際理解教育の視点を踏まえたスポーツ教育の計画と実施を進められましたか。

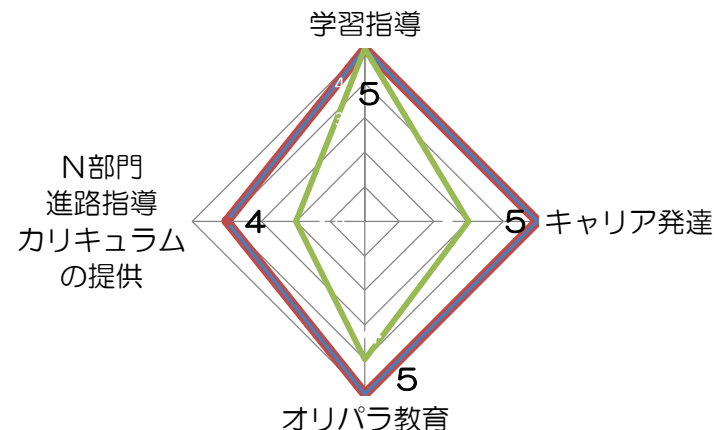
協議委員			保護者			教職員			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
100%	0%	0%				87%	11%	2%	93%	5%	1%

Q4 【N部門】中学部卒業後の進路に向け、丁寧なガイダンスと学科に応じた指導カリキュラムの提供ができましたか。

協議委員			保護者			教職員			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
						85%	9%	6%	85%	9%	6%

## 1. 教育課程の充実

—平成29年度  
—平成28年度  
—平成27年度



個別の課題学習については、「研修等を通して教員の意識が高まり、計画的な設定が定着している。」「教員とCGが、ねらいをしっかりと確認し、共通理解をもって臨むことができている。」「子供のことを理解し、子供に合った教材を工夫して取り組んでもらえている。」「個別指導計画や日々の連絡帳を通して、どのように取り組んでもらっているのかがわかる。」という御意見を、多くいただきました。半面、「目標を明確に定めて取り組むことが必要である。」という教員からの反省も挙げられ、指導体制の工夫や指導時間の確保とともに、今後も課題として検討していきます。

キャリア発達に関しては、「大学の見学は貴重な体験。」「公共のバスの利用の計画は、ありがたい。」との御意見が主でした。社会見学の場所や内容については、学校全体の系統性を大切に、設定していくようにいたします。

オリパラ教育は、選手とのふれあいや競技の体験に関して、全般的に高評価をいただくことができました。引き続き、より良い内容を計画していきます。

N部門の進路指導に関しては、実際に進路指導に当たっていない学年や学部の教員からの「どのような指導を行っているのかが分かりにくい。」という意見もありました。児童・生徒の将来を見据えた、指導やねらいについての計画を、全校で確認し、共有できるようにしていきます。

Q5 授業者支援会議で得たノウハウの蓄積や、日々の評価による改善策の共有と活用ができましたか。

協議委員			保護者			教職員			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
100%	0%	0%				86%	7%	7%	93%	3%	3%

Q6 授業力向上研修等研修の成果を、日々の指導に活用できていますか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
88%	0%	13%				89%	10%	1%	88%	5%	7%

Q7 日々の指導について、授業ガイドや通知表等を通し、しっかり伝えることができましたか。

【保護者】連絡帳や授業参観、授業ガイド等を通して、日々の指導について理解することができましたか。

協議委員			保護者			教職員			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
50%	13%	38%	95%	1%	3%	94%	3%	3%	80%	6%	15%

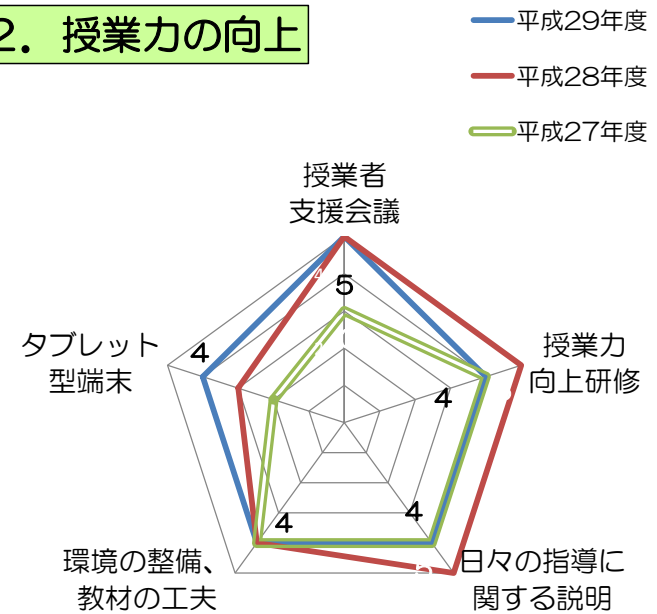
Q8 日々の授業について、指導環境の整備や教材の工夫等を進められていますか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
88%	0%	13%	79%	7%	14%	91%	7%	2%	86%	5%	9%

Q9 読書活動や調べ学習、タブレットを活用した、思考力や判断力、表現力等の育成を図る学習の充実を図ることができましたか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
88%	0%	13%	79%	7%	14%	91%	7%	2%	86%	5%	9%

## 2. 授業力の向上



授業者支援会議は、鹿本4年目となりしっかり定着してきました。教師間の連携や打ち合わせが、きちんと行えるようになったとの意見も多く挙がりました。

教材等の指導環境については、教材展等を通して質の向上につながった反面、時間外に取り組まなければならない状況や、教材の保管や活用の方法について、校内の組織的なシステム作りが不十分と

の課題が挙げられました。今後、全校での効果的な活用のあり方について、組織的に検討していきます。

読書活動は「たくさんの本を借りてきてくれてありがたい。」「計画的に活用できた。」という感想がほとんどでしたが、タブレット型端末に関しては「もっと授業で活用してほしい。」という要望が挙げられました。教員の、授業に取り入れるという実績は上げることができているのですが、「機器トラブルが多く、思うように使えない。」との意見もあり、誰もが使えるマニュアルの作成や活用しやすいアプリの紹介等の工夫を進めることが課題です。情報担当で検討を進めます。

授業ガイドや連絡帳については、「細かく知らせていただきありがたい。」という意見が多数でした。ただし、教員による視点の違いや読みにくさを指摘する意見もあり、校内及び学部内で記入の在り方を確認し、保護者の方に御理解いただける、わかりやすい記入に努めてまいります。

研修については、「さらに様々な研修を受け、多角的な視点で授業を検討できるようにしたい。」という要望が複数挙げられました。平成30年度は、まずは部門別に、教職員の研修を設定し、指導の在り方を検討するようになっていく予定です。

Q10 障害特性をふまえた宿泊防災訓練等の防災教育を行うことができましたか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
75%	0%	25%	89%	2%	10%	87%	7%	7%	84%	3%	14%

Q11 地域との災害時相互協力関係の構築（地域防災訓練への一層の協力）がなされましたか。

協議委員			保護者			教職員			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
			87%	3%	10%	86%	6%	9%	86%	4%	9%

Q12 万一の事故を教訓とした再発防止策の徹底が行えていますか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
75%	0%	25%				95%	3%	2%	85%	1%	13%

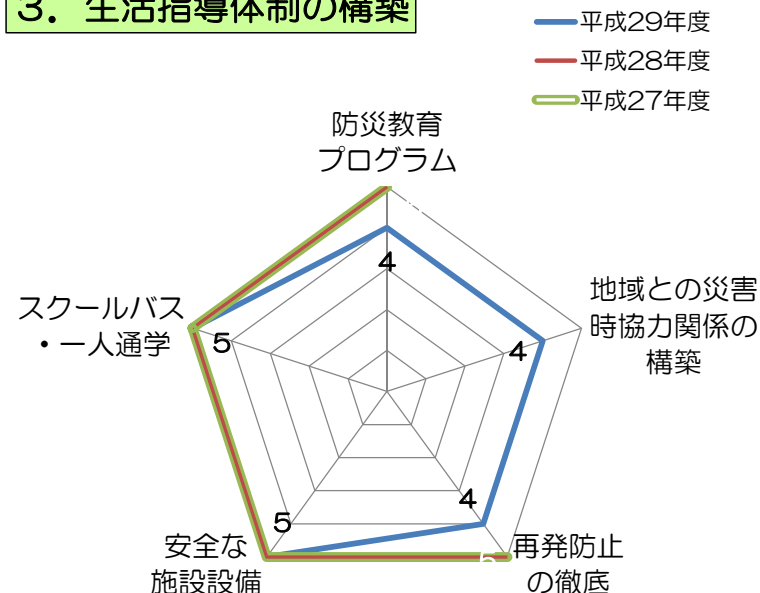
Q13 飛び出しや迷子、怪我の防止等、安全な施設設備を整備することができましたか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
88%	0%	13%				95%	3%	2%	91%	1%	7%

Q14 スクールバスの安全発着体制や一人通学の指導体制構築、通学路点検等、通学環境を整備することができましたか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
88%	0%	13%				95%	2%	3%	91%	1%	8%

### 3. 生活指導体制の構築



宿泊防災訓練については「実施していただけてありがたい。」「今後も、ずっと続けてほしい。」「S部門も参加できてよかった。」「廊下のミラーの設置は、効果的。」という意見が多く挙げられた反面、「他の学年でも実施してほしい。」や、「S部門にも必ず必要。」など、実際に即した防災訓練の実施に関する要望が多く挙げられました。今年度実施した反省を踏まえ、今後の可能性について、生活指導部の課題として、検討を進めてまいります。

スクールバスや一人通学に関する安全面の確保や指導体制の構築については、おおむね好評価をいただくことができましたが、再発防止の徹底や防災教育プログラム、地域との災害時協力関係の構築については、さらに積極的な実施と高い安全性を求めた御意見が多く、その結果が表れたものとなっています。全校確認やアナウンスを行うことにより、「各教室に設置したアクションカードの効果的な活用。」や「再発防止に関する、教員の意識化の徹底。」に努めてまいります。

この他、「正門のカギがかけにくい。」「正門のみセキュリティがかけられているが、他の門は、大人が誰でも鍵を開けて入ることができてしまう。」「テンキー番号が掲示されているのは、安全面で不安。」という具体的な御意見もありました。校内のルールを再確認し、改めてお知らせできるようにしていきます。

Q15 開校6年で全教職員が必異動を迎える変革期にあたって、効率的・合理的な保健・緊急対応システムを実施することができましたか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
63%	0%	38%	85%	3%	12%	88%	9%	3%	79%	4%	17%

Q16 適切なアレルギー対応を行う為の教職員の資質向上と、校内体制の整備を行うことができていますか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
75%	0%	25%	75%	2%	23%	95%	2%	2%	82%	2%	17%

Q17 都方針に基づき、安心・安全な医療的ケア制度の啓発と医療的ケア体制の堅持はなされていますか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
63%	0%	38%				93%	2%	4%	78%	1%	21%

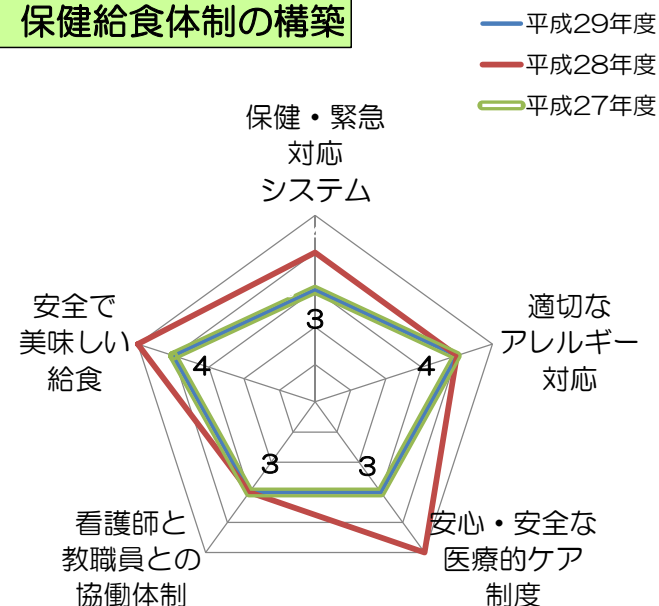
Q18 【S部門】医療的ケアの実施に関して、看護師と教職員の協働体制は図られていますか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
75%	0%	25%	64%	7%	28%	97%	1%	3%	79%	3%	19%

Q19 安全でおいしい給食の提供と、楽しい給食タイムの工夫を行うことができましたか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
63%	0%	38%	87%	1%	12%	96%	2%	2%	82%	1%	17%

#### 4. 保健給食体制の構築



保健給食に関しては、医療的ケアの保護者の負担軽減を求める実施の在り方や適切なアレルギー対応の徹底、教員の異動を迎える変革期を見据えての引継ぎ体制の確立についての要望が高く、全体的に厳しい評価となりました。

医療的ケアについては、東京都の動きを確認しながら適切に実施できるよう努めていくとともに、引き続き、CGを含めたそれぞれの児童・生徒に関する校内の医療的ケア実施人数を増やし、スムーズな引継ぎにつなげられるよう、留意してまいります。御理解と御協力をお願いいたします。また効率的・合理的な保健・緊急対応システムの実施については、内容や校内対応ルールの整理を行い、誰でも分かる「マニュアル」の作成を進めていきます。N棟の食堂利用や形態食の日々の改善は評価が得られていますので、今後も継続してまいります。ただし、アレルギー対応に関しては、宿泊行事や校外でのレストラン学習時にも事前確認と当日のチェック、行事のしおりへの掲載を通しての保護者への確認等、徹底を図っていくことを全校で確認しました。

アレルギー対応についてはさらに、PTAバザーでの対応について、「子供が食べることでできない食材を含む食べ物が売られていたことを知り、もしも口にしていたらと思うと恐ろしい。」「アレルギー対応のない子供は、食べ物を買ってもよいようにしてほしい。」等の御意見が多く挙げられた。平成30年度は、PTAの方々とも早目に確認を行い、対応策を御報告できるようにいたします。御理解と御協力を、よろしくをお願いいたします。

Q20 【S部門】教員と学校介護職員の協働体制の充実は図られていますか。

協議委員			保護者			教職員（CG含む）			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
75%	0%	25%	86%	4%	10%	94%	5%	1%	85%	3%	12%

Q21 【N部門】カフェや栽培園芸のノウハウを有する企業の専門家からの助言を活用して作業学習の充実が図られていますか。

協議委員			保護者			教職員			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
63%	0%	38%	67%	1%	32%	80%	6%	15%	70%	2%	28%

Q22 【S部門】学習指導アドバイザー等外部専門家を人材活用した授業者支援・保護者支援がなされていますか。

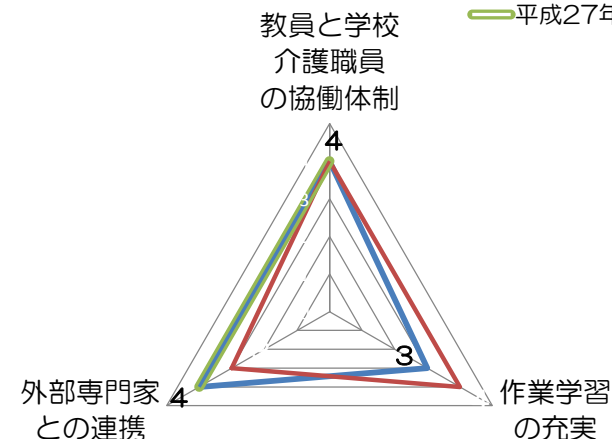
協議委員			保護者			教職員（CG含む）			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
88%	0%	13%	81%	7%	12%	95%	2%	3%	88%	3%	9%

Q23 【N部門】外部専門家を人材活用した教育環境整備や授業改善、教材充実が図られていますか。

協議委員			保護者			教職員			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
88%	0%	13%	72%	5%	23%	93%	1%	6%	84%	2%	14%

## 5. 専門性ある人材の活用

—平成29年度  
—平成28年度  
—平成27年度



S部門の教員と学校介護職員の協働体制については、おおむね評価いただくことができました。しかし外部専門家に関しては、両部門ともに「S部門でも、たすくのアドバイスが受けられるようにしてほしい。」「N部門でも、OTやPTで身体のことを見てもらいたい。」という、他部門の外部専門家の活用を求める要望が多く挙げられました。N部門の方の身体機能面の課題については、現在も、担任を通してS部門の自立活動担当教員に相談することができるよう、システムは整えて対応しています。不安に思うことがありましたら、担任に御相談ください。

また、外部専門家のアセスメントを受けても、「自分の子供がどんなアドバイスを受けて日々の指導に生かされているのかが分からない。」「アセスメントの時にはできるだけ参加したいと思っているが、連絡が直前なので、仕事をしていると調整が難しい。もっと早く連絡してほしい。」という声も多く挙げられました。説明力不足という課題が明確になりましたので、連絡や報告の仕方については校内で確認し、改善できるように努めます。

作業学習については、外部専門家に関してだけでなく、カフェ以外でもSN部門のさらなる連携を望む声が多く挙げられました。連携については、他作業班での実施形態等、可能性の検討を進めていく予定です。



Q24 特別支援教育の将来を担う次世代の人材育成を、組織的に進めることができているか。

協議委員			保護者			教職員			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
88%	13%	0%	/	/	/	83%	14%	3%	85%	13%	1%

Q25 個人端末等を活用した、的確で合理的・効率的な業務遂行が図られていますか。

協議委員			保護者			教職員（CG含む）			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
75%	0%	25%	/	/	/	92%	5%	2%	84%	3%	14%

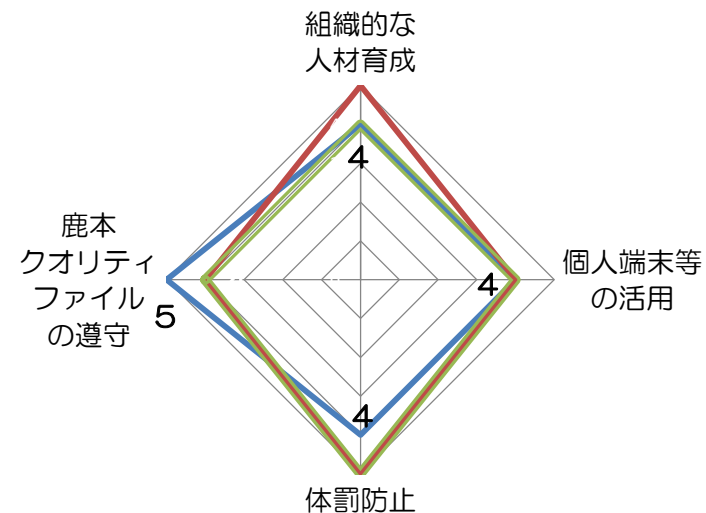
Q26 体罰や暴言をなくすために、人権尊重に基づく指導を実践できていますか。

協議委員			保護者			教職員（CG含む）			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
63%	13%	25%	88%	3%	9%	95%	3%	2%	82%	6%	12%

Q27 個人情報保護等、鹿本クオリティ・ファイルの遵守と、学園教職員として誇りある行動を実践できましたか。

協議委員			保護者			教職員（CG含む）			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
88%	0%	13%	/	/	/	97%	2%	1%	92%	1%	7%

## 6. 学校組織の確立と教職員の行動指針



教職員間における、個人端末の掲示板を利用した情報伝達や、鹿本クオリティ・ファイルへの意識は高まっていることが分かりました。ですが、「きちんと読んでもらえたかどうか分かりにくい。」「個人情報の流出を防ぐためにも、クリーンデスクはさらに徹底すべき。」という意見は挙げられていますので、確実な実施と、さらなる徹底を、全校で呼びかけ、図っていききたいと思います。

この他、人権尊重については、「愛称や呼び捨てなど、児童・生徒の名前の呼び方が気になる。」という意見が、多方面から複数挙げられました。日ごろから意識して臨めるよう、日々の呼びかけと学部を超えた情報共有に努め(管理職と各主幹教諭、及び学部主任との打ち合わせ等での報告を通じた情報交換)、指導と改善を進めてまいります。

人材育成については、「若手教員は、様々な授業を見て学べる機会を設けるべき。」という意見が数件挙げられました。授業予定の調整を行いながら、様々な授業を参観できるよう、計画していきます。

Q28 学校内外の活動を、ホームページやFacebook等の活用により情報発信することができていますか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
100%	0%	0%	86%	3%	12%	92%	2%	6%	93%	2%	6%

Q29 高等部進学及び高等部卒業後の社会参加を見据えた進路指導や保護者への情報提供が、十分に行われていると思いますか。

協議委員			保護者			教職員			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
			79%	5%	16%	88%	6%	6%	83%	6%	11%

Q30 清潔で美しい学校環境を整えることができていますか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
100%	0%	0%	94%	4%	3%	94%	5%	1%	96%	3%	1%

Q31 活字に親しむための教育環境を整備するため、保護者による応援組織の構築を行うことができたか。

協議委員			保護者			教職員			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
						87%	6%	7%	87%	6%	7%

Q32 教職員の接遇マナー（服装、案内、電話、応答）は向上していますか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
100%	0%	0%	95%	2%	4%	89%	9%	1%	95%	4%	2%

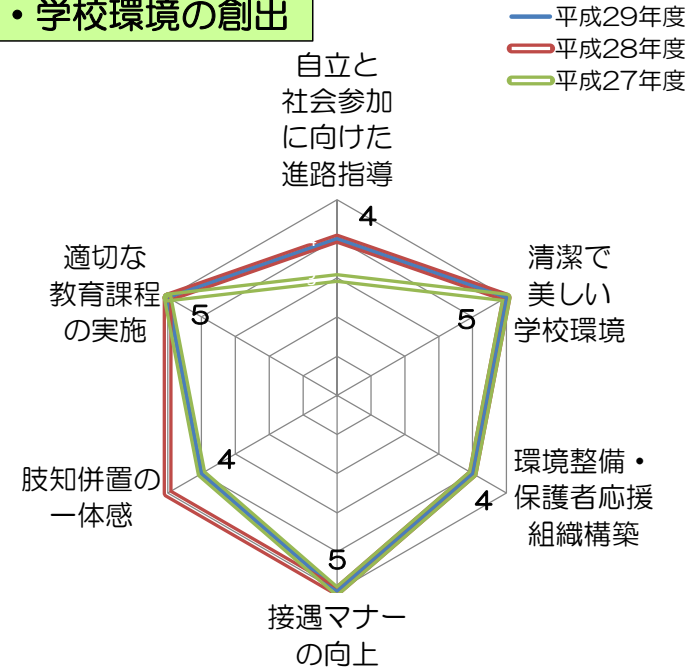
Q33 併置型学園として、儀式や行事等を通してSN各学部の一体感を高め魅力ある教育活動を推進することができていますか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
100%	0%	0%	78%	8%	14%	82%	16%	2%	87%	8%	5%

Q34 各学部・学年で、児童・生徒の実態や生活年齢に配慮し、授業や行事等の教育課程が組織的・系統的に改善され、適切に実施されていますか。

協議委員			保護者			教職員 (CG含む)			全体		
プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入	プラス評価	マイナス評価	未記入
100%	0%	0%	90%	2%	9%	88%	9%	3%	93%	4%	4%

## 7. 魅力ある学園教育 ・学校環境の創出



「facebookは、様子が分かって良い。」  
 「ホームページにも、校内の様子をあげてほしい。」  
 「弁論を通し、卒後の自立した生活についてイメージできた。」  
 「卒後の情報が少ない。」「もっと情報が欲しい。」  
 「保護者との、電話中の会話での言葉遣いが気になる。」  
 「各教科等の系統性を考えるべき。」  
 「高等部の教員は、進路決定までの流れについて、研修を行うことが必要だと思う。」  
 「進路講話会などは、早目に連絡が欲しい。聞きたいと思っても、仕事の調整ができずに、参加できないことが多い。」  
 など、様々な意見が挙げられました。言葉遣いや情報提供の在り方については、校内、さらに学部内での徹底を図り、改善に努めます。  
 この他、肢知併置の一体感については、保護者からも教職員からも「SN合同の行事を増やしてほしい。」という意見が、多く挙げられました。儀式だけでなく、合同で行える学年ごとのイベントについて、可能性、及び方向性を探るようにしていきます。

◎今年度、私はこれをやりました(教員)。

- ・分掌業務(スクールバス、一人通学指導、学校介護職員関係、就学相談・入学相談関係、保健関係、給食関係、医療的ケア関係、学校便り、「広がれ絆!オープンフェスタ」体験部門運営、教務関係、保護者学習会の準備進行、年次研関係〔2〕、TAIMS端末整備、政治経済、副籍業務、虹輝祭の企画・運営〔3〕、外部専門家との調整、生活指導関係、コーディネーター業務、サポーター養成講座、情報関係)〔22〕
- ・学習指導(国語〔2〕、算数・数学〔2〕、英語、生活単元学習、個別課題学習〔3〕、音楽〔2〕、図画工作・美術〔2〕、保健体育、作業学習)〔15〕
- ・キャリア教育(大学見学、弁論活動、会社見学、企業実習、卒業後の自立に向けた移行支援)〔6〕
- ・学部、学年運営〔6〕
- ・防災教育(宿泊防災訓練、地域の総合防災訓練への参加等)〔3〕
- ・教材作成〔3〕
- ・移動教室・修学旅行の企画運営〔3〕
- ・保護者との連携〔3〕
- ・より良い授業づくり〔2〕
- ・学校図書館運営、虹の部屋運営〔2〕
- ・自立に向けた、日常生活面での指導〔2〕
- ・6名1担任の担任業務〔2〕
- ・児童・生徒の実態把握や健康観察の看取り〔2〕
- ・ポッチャ(部活動)の指導〔2〕
- ・主任業務
- ・副担任業務
- ・SNの連携(教科会)
- ・児童・生徒指導
- ・進路指導
- ・運動会・スポーツフェスタ
- ・訪問教育
- ・若手教員への指導
- ・教育実習生の指導
- ・鹿本農園の充実
- ・オリパラ教育
- ・学校公開の運営について
- ・人権尊重に基づく指導の実践
- ・自立活動関係
- ・児童・生徒の呼吸及び排痰指導、助言
- ・学習グループ会における、情報共有
- ・PTA活動への参加
- ・日々の調整業務
- ・児童・生徒の課題解決に向けた指導
- ・予算関係業務
- ・外部機関との連携
- ・保健関係のガイドの作成
- ・教員と連携した、児童・生徒の健康状態に関する情報管理
- ・安心、安全な医療的ケアの実施(教職員、非常勤看護師との連携)
- ・非常勤看護師に対する業務整理
- ・保健室業務の見える化
- ・校内清掃
- ・食堂利用の充実
- ・全国公開研の企画・運営
- ・学校行事や日々の業務を円滑に行うための、経営企画室内及び他部署との連絡調整。
- ・学校徴収金の適切な執行管理

※項目の後にある〔数字〕は、同じ内容について複数回答のあったものの回答数です。上から順に、多い順に挙げました。

◎介護の専門家として自信のあること、課題と感じていること(学校介護職員)。

#### 【自信のあること】

- ・児童・生徒が自分でできることは自分で行えるよう、見守りや支援をして自立できるように接している。〔4〕
- ・児童・生徒の体調や、様子の変化に気付く力〔2〕
- ・健康管理〔2〕
- ・安全管理意識〔2〕
- ・生徒への言葉掛け
- ・児童・生徒と明るく接すること
- ・幅広い実態の児童
- ・生徒の対応ができるようになった。
- ・チームワークと情報共有
- ・教員との連携
- ・児童・生徒の発達段階に合ったコミュニケーションの仕方や身辺自立に関わる全ての支援方法に関して自信を持って取り組むこと
- ・教材などの制作

#### 【課題】

- ・摂食指導
- ・身体を取り組みや排せつなどに関する専門性
- ・学習時の、児童・生徒の能力を引き出し、高めていく支援方法
- ・自立のための支援
- ・児童・生徒一人一人の注意点、留意点等の把握
- ・児童・生徒自身の思いを伝えやすい環境・状況を作っていくこと
- ・児童・生徒が学習に見通しをもてる支援
- ・学習場所の環境整備
- ・重度の児童・生徒との意思の交流

※項目の後にある〔数字〕は、同じ内容について複数回答のあったものの回答数です。上から順に、多い順に挙げました。

◎自由意見

自 由 意 見	回 答 ・ 備 考
<p>①Facebookに毎日給食の写真を載せてください。自宅でも参考にしたいです。</p> <p>②学校で撮った写真が欲しいです。学校では、家では見せないよい表情をしています。</p> <p>③虹輝祭の発表で、体育館になったことがありません。音楽室では見にくいです。学年の人数にもよると思いますが、人数の少ない学年は体育館を使えず不公平です。</p> <p>④車で送り迎えをしている方は、雨の日の校内への移動が大変です。昨年の回答は「近くにいる先生に声をかけてください」でしたが、誰もいない時もあります。</p> <p>⑤年中行事表(手紙)などの字が小さく困ります。</p> <p>⑥まちcomiメールで宿泊行事の様子が配信されるのは、親は安心できて嬉しいですが、関係ない他学年にも毎回配信されるのはやめてほしいです。まちcomiメールがきたら「何事か」と思います。関係ないものが続くと、だんだん見なくなります。緊急時にすぐ確認してほしいものなので、該当学年以外の情報は無い方がよいです。</p> <p>⑦医療的ケアのため、社会見学の時の保護者同伴が難しく、欠席せざるを得ないことがあります。体調もよく欠席の必要がない子を、親の理由で欠席させるのは本当に申し訳ないです。子供だけで参加できる環境を望みます。</p> <p>⑧南門で、福祉車両が早い時間からリフトを下ろして待機していると、医療的ケアの児童・生徒の自主通学をしている保護者の方の車が止めることができません。注意してほしいです。</p> <p>⑨スクールバスを利用できない場合、1時間に2本間隔の路線バスで登下校せざるを得ません。体調不良で緊急に早退する場合、車いすごと乗車できる福祉タクシーを当日に手配することは困難です。本人と保護者が通常タクシーで帰宅する際、当日のスクールバスルートで車いすだけ運搬し、受け取れるようにしてほしいです。</p> <p>⑩PTAの方は、学校のため子供のために時間を削って頑張ってくれているのに、車で来たたくても外の有料駐車場を使うしかありません。金銭的な理由で、遠回りしたり時間をかけて公共機関を使ってきている方が多いそうです。デイサービスの車が来る前などは駐車場が空いているので、活用できるようにしてほしいです。</p> <p>⑪南門の駐車場利用者が多く、いつ事故が起きてもおかしくない。ルールが必要では。</p> <p>⑫部活に関わってください、男性教員が少ないです。もう少し増やしてほしいです。</p> <p>⑬鹿本になり、進路講話会など保護者向けの学習会がぐっと魅力的なものになったと思います。続けてください。</p> <p>⑭保護者用の自転車置き場をもっと置きやすい場所に作ってほしいです。先生方の自転車があり、とめずらかったり、第2駐輪場は少々距離があり、利用しにくいです。</p> <p>⑮平成31年度に向け、江東特別支援学校への進路指導や情報提供を、お願いします。就学前から白鷺に行くと思っていましたが、突然の通学区域変更でとても不安です。</p> <p>⑯小岩特別支援学校の時同様、児童精神科のDr.面談をできるようにしてほしいです。</p> <p>⑰校内ですれちがってもきちんと挨拶を交わしてくれない先生がいます。</p> <p>⑱学年教員間の連携、前年度担任からの引き継ぎ等はきちんとできているか疑問です。</p> <p>⑲正門の鍵がずっと壊れたままで直す様子が見受けられません。児童・生徒が簡単に抜け出せそうで心配です。なるべく早く直してください。</p> <p>⑳摂食指導について、ある程度は保護者の意向をくみ取る余地があるべきだと思います。食事の形態が下げられた時に、普通食または次の形態にもどるまでの見通しや明確な課題の提示が必要です。</p>	<p>①毎日の写真は難しくても、献立表等を利用し、レシピの紹介等を計画します。</p> <p>②個人情報保護の観点から、お売りすることはできません。お便り等への掲載をさせていただきますので、御理解ください。</p> <p>③御意見ありがとうございます。今後の参考にさせていただきます。</p> <p>④天候等で厳しい場合は、事前に到着時間を御連絡いただければ、お手伝いすることは可能です。よろしく申し上げます。</p> <p>⑤紙面の制限はありますが、改善に努めます。</p> <p>⑥無料で利用している現在のシステムでは、送信先を細かく分けることが、できない状況です。送信先を分けられるようにするには、お一人あたり、年間1,200円程度が必要となります。PTAの方々とも相談しながら、より良い方向性を探っていきたいと思っております。</p> <p>⑦東京都の方針に基づき、他校の様子も探りながら、まずは校内における医療的ケアについての実施者を増やすことに継続して取り組み、校内体制の充実に努めつつ、今後の可能性を探ってまいります。どうぞ、御理解と御協力をお願いいたします。</p> <p>⑧早速確認し、お願いしています。また何かあれば、お知らせください。</p> <p>⑨～⑭ 御意見ありがとうございました。いただきました御意見は、それぞれ該当部署で参考にさせていただきます。方向性や可能性を探ってまいります。変更する場合には、お便り等でその都度お知らせするようにいたします。よろしく申し上げます。</p> <p>⑮新たな情報は、きちんとお伝えします。御安心ください。</p> <p>⑯自立活動指導員としてお願いしている臨床発達心理士の先生に、相談できる場は設けています。相談したいことがありましたら、担任に御相談ください。予定を調整します。</p> <p>⑰⑱保護者の皆さまに心地よく、また安心していただけるよう、教職員の接遇改善と連携強化に努めます。</p> <p>⑲関係部署と連絡を取りながら、対応を検討しているところです。御心配をおかけしますがよろしく願いいたします。</p> <p>⑳摂食指導については、保護者と連携を図りながら進めてまいります。見通しをもって臨んでいただけるような説明に努めます。不明な点は、遠慮なく御連絡ください。</p>